

# カーボン・オフセットイベント情報整理表

## 1 概要

(1) イベント名 減らそうCO <sub>2</sub> 清流の国ぎふエコライフフェスタ
(2) 開催期間 平成24年2月8日(水)から12日(日)
(3) 会場 アクティブG(岐阜市橋本町1(岐阜駅高架下)) じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)(岐阜市橋本町1丁目10番地11)
(4) 実施内容 県民の皆さまに地球温暖化防止に対する意識を高めていただくため次の発表会・展示会当を行うことにより、ライフスタイルの変革に繋がります。 ・温暖化防止活動発表会 ・新エネ・省エネ製品PR展示会 ・省エネ講習会 ・JR岐阜駅周辺次世代エネルギー見学ツアー ・ワークショップ&クイズラリー ・エコライフパネル展
(5) 参加予定人数 一般県民 5,000人
(6) 主催 岐阜県地球温暖化防止活動推進センター
(7) 共催 岐阜県
(8) 後援 環境省中部地方環境事務所、岐阜市、株式会社十六銀行、全国地球温暖化防止活動推進センター、中部エネルギー・温暖化対策推進会議、中部カーボン・オフセット推進ネットワーク、中部電力株式会社

## 2 環境配慮の取組み

温室効果ガス排出につながる事業活動での環境配慮の取組み	(1) 電気使用量の削減 発表会・講習会等の会場では、次の取組みで電気の使用量を減らします。 ・ イベント開催中・準備時の部分消灯 ・ イベント開催中の空調の温度設定を20℃に管理 (2) マイカー使用自粛 ・ 来場者に対し、来場時のマイカー使用自粛について呼びかけます。 (徒歩・自転車・公共交通機関の利用、マイカーの相乗りなどを推奨) ・ スタッフの移動における、自動車の使用量削減に取り組みます。
その他の環境配慮の取組み	・ イベントでマイボトル、マイバッグの使用を呼びかけ、ゴミを出さない取組みを呼びかけます。 ・ 環境にやさしい企業をパネルで紹介します。

### 3 オフセット量の算定

算定の範囲		(1) 電気使用量の削減 (2) マイカー使用自粛
算定	事前算定量(a)	3 の活動により、通常排出が予測される温室効果ガス排出量 2.36 t-CO <sub>2</sub>
	削減量(予定量)(b)	上記(a)のうち、削減努力により削減する温室効果ガス排出量 0.73 t-CO <sub>2</sub>
	オフセット量(予定量)(c)	削減の取組みをしても排出される量(a-b)のうち、オフセットする量 1.63 t-CO <sub>2</sub> (事後算定の結果により、最大2 t-CO <sub>2</sub> をオフセットする。)

### 4 予定するオフセットの方法(クレジットの調達方法)

購入するクレジットの場合	クレジットの種類	J - V E R
	利用プロジェクト	名称：岐阜県東白川村森林組合の「FSC 認証林」間伐プロジェクト ～つちのこ村で、環境にやさしい里山づくり～ 識別番号：0079
オフセットの時期		平成 24 年 2 月
オフセットの原資		参加者の募金を充てる予定。不足分は自己資金で賄う。

### 5 広報等

<p>〔イベントのPRで取組み〕</p> <p>発表会チラシ(4,200枚)及び全体チラシ(60,000枚)に、カーボン・オフセットの実施を明記し、マイカー自粛及び暖かい服装での来場を呼びかけます。</p> <p>〔イベント当日の取組み〕</p> <p>アンケートにより、当日の交通手段について調査を行います。</p> <p>オフセット・クレジットを購入するための募金を行うため、啓発パネルの設置を行います。</p> <p>出展者へカーボン・オフセットの趣旨を説明し、マイカー使用の自粛及び暖かい服装での参加による、二酸化炭素削減に向けた運営への理解と、協力を得ます。</p>
--

# 二酸化炭素排出量事前算定

## 1 二酸化炭素排出削減の取組み

### (1) 電気使用量の削減

発表会・講習会等の会場では、次の取組みで電気の使用量を減らします。

- ・ イベント開催中・準備時の部分消灯。
- ・ イベント開催中の空調の温度設定を 20 に管理。

### (2) マイカー使用自粛

イベント期間中の来場者に対し、来場時のマイカー使用自粛について呼びかけます。

(徒歩・自転車・公共交通機関の利用、マイカーの相乗りなどを推奨)

### (3) ゴミの削減

イベントでマイボトル、マイバッグの使用を呼びかけ、ゴミを出さない取組みを呼びかけます。

## 2 環境配慮の取組み

### (1) イベントのCO<sub>2</sub>排出量

このイベントでは、電気の使用、自動車の使用などによるCO<sub>2</sub>排出が見込まれます。

基準排出量(a)	2.36 t-CO <sub>2</sub>
----------	------------------------

#### 電気の使用によるCO<sub>2</sub>の排出量・・・0.31 t-CO<sub>2</sub>

場所：じゅうろくプラザ 大会議室及び小会議室 1

算定する日：平成 24 年 2 月 8 日 (1 日間)

[計算]

$$659.93\text{kWh/日} \times 0.000473\text{t-CO}_2/\text{Kwh} = 0.31\text{t-CO}_2$$

$$\left( \begin{array}{l} \text{大会議室 } 502.70\text{kWh/日} + \text{小会議室 } 157.08\text{kWh/日} = 659.78\text{kWh/日} \\ \text{CO}_2 \text{ 排出係数 } 0.000473\text{t-CO}_2/\text{Kwh} \end{array} \right)$$

#### 来場者の移動に係るCO<sub>2</sub>の排出量・・・2.05 t-CO<sub>2</sub>

・ 来場者 750 人

(2月8日開催)

温暖化防止活動発表会・新エネ・省エネ製品PR展示会

省エネ講習会・JR岐阜駅周辺次世代エネルギー見学ツアー 200 人

(2月11日・12日開催)

ワークショップ&クイズラリー 500 人 (250人/日)

(期間中) スタッフ 延べ 50 人

・ 移動の手段

移動の手段は、自家用自動車(社用車等を含む)及び公共交通機関とし、本イベン

ト開催により発生するCO<sub>2</sub>は自家用自動車由来を算定する。

- ・ 来場者の平均移動距離は、往復 20km ( 岐阜市近郊からの来場 ) と仮定。
- ・ 予定来場者のうち、60%が自家用自動車を利用(420 人)、残り 40%が公共交通機関 ( 鉄道 ) を利用(280 人)と仮定。
- ・ ワークショップ&クイズラリー来場者の半数(150 人)は児童・生徒と仮定。

[ 計算 ]

( 一般来場者 )	自家用自動車利用 20 km ÷ ( 燃費 ) 9.09km/ℓ × 330 台 × ( 原単位 ) 2.32t-CO <sub>2</sub> /人・km ÷ 1,000 = 1.68t-CO <sub>2</sub>
	鉄道利用 20 km × 280 人 × ( 原単位 ) 19g-CO <sub>2</sub> /人・km ÷ 1,000,000 = 0.11t-CO <sub>2</sub>
( スタッフ ) 自家用自動車利用 20 km ÷ ( 燃費 ) 9.09km/ℓ × 50 台 × ( 原単位 ) 2.32t-CO <sub>2</sub> /人・km ÷ 1,000 = 0.26t-CO <sub>2</sub>	
CO <sub>2</sub> 排出量	自動車利用 1.94 t-CO <sub>2</sub>
	鉄道 0.11 t-CO <sub>2</sub>
	計 2.05 t-CO <sub>2</sub>

$$\left[ \begin{array}{l} \text{来場者の自家用車利用台数内訳} \\ \text{( 一般来場者数 } 700 \times 60\% ) - \text{( 児童・生徒数 } 150 \times 60\% ) = 330 \text{ 台} \end{array} \right]$$

## ( 2 ) CO<sub>2</sub>排出削減の取組み

会場内の電気使用削減に努めるほか、来場者へマイカー使用自粛を呼びかけるなどして、CO<sub>2</sub>排出削減に努めます。

目標削減量	<u>0.73 t-CO<sub>2</sub></u>
-------	------------------------------

### 電気使用量の削減

・・・排出量 0.31 t-CO<sub>2</sub> ( 削減量設定無し )

発表会・講習会等の会場の部分消灯及び空調の温度設定を 20 に管理することで、照明及び空調による電気使用量の削減を目指します。

( 設備の個別データが得られないため、数値は設定しないこととし、削減目標には含めません。 )

### 来場者のマイカー使用自粛

・・・排出量 1.32 t-CO<sub>2</sub> / ( 削減量 0.73 t-CO<sub>2</sub> )

来場者へ、来場の際のマイカー使用自粛を呼びかけ、マイカー使用の削減を目指します。

- ・ 公共交通機関や自転車利用への変更  
... 約 20%が変更 ( 自家用自動車 66 台減 )
- ・ 自家用自動車の相乗りへの変更  
... 約 30% ( 100 人 ) が相乗り ( 2 人利用 ) に変更 ( 50 台減 )
- ・ スタッフの自家用自動車の相乗り  
... 相乗り ( 3 人利用 ) に変更 ( 33 台減 )

〔計算〕

自家用自動車削減量		
20 km ÷ (燃費)9.09km/ℓ × 149 台 × (原単位)2.32t-CO <sub>2</sub> /人・km ÷ 1,000 = 0.76t-CO <sub>2</sub>		
鉄道利用者の増による排出量		
20 km × 66 人 × (原単位)19g-CO <sub>2</sub> /人・km ÷ 1,000,000 = 0.03t-CO <sub>2</sub>		
CO <sub>2</sub> 排出削減量	自動車利用	0.76 t-CO <sub>2</sub> 減
	鉄道	0.03 t-CO <sub>2</sub> 増
	計	0.73 t-CO <sub>2</sub> 削減

ゴミの削減

マイボトル、マイバッグの使用、ゴミの分別（リサイクル）を呼びかけます。

【参考】

(1) 電気の使用量について

イベントで使用する会場のうち、電力使用量の概算できる「じゅうろくプラザ」（大会議室及び小会議室1）についてのみ、算定し取組みの目標に使用した。

- ・「じゅうろくプラザ」大会議室及び小会議室1（2月8日発表会・講習会等で利用）  
全電力使用量を部屋面積（商用スペースの比率）で按分し、1日の電力使用量を算定

大会議室：93,540kW × 0.1666 ÷ 31 日 = 502.70kW/日

小会議室：93,540kW × 0.0521 ÷ 31 日 = 157.08kW/日 とする。

{	全フロア面積 2,053 m <sup>2</sup> (100.00%)
	大会議室 342 m <sup>2</sup> (16.66%)、小会議室1 107 m <sup>2</sup> (5.21%)
	過去3ヶ月の電力使用量の最大月 10月 93,540kW

- ・除外した会場（プログラム）

- ・「アクティブG」ふれあい広場・Gストリート

（2月11・12日利用/ワークショップ&クイズラリー）

- ・「アクティブG」Gストリート（2月8～12日利用/エコライフパネル展）

(2) 電気の使用量の削減について

発表会・講習会等の会場では、照明及び空調設備の電力使用量の個別データを有しておらず、削減努力による電力削減量把握することができないことから、削減量の算定から除外することとした。

(3) 来場者の移動に係る算定について

2月9・10日に実施中のエコライフパネル展については、施設利用者を対象とした展示プログラムであることから、CO<sub>2</sub>排出量及びその削減量の算定からは除外することとした。